

応募要項

環境フォト・コンテストは、地球環境保全へのメッセージを広く発信することを目的としています。

応募作品について

- 一般部門10テーマ(大学生は「大学生部門」を含む計11テーマ)の中から、各テーマにふさわしい写真を応募してください。
- 白黒・カラーのどちらでも結構です。
- 応募データ1点当たりのファイルサイズの上限は5MB以内です。データのファイル形式はJPEGのみとします。
- 撮影した写真のトリミングは自由です。
- 画像処理ソフトなどを使用し、加工した作品での応募も可能です。
- 組み写真による応募は不可です。ただし大学生部門のみ可とします。
- 応募作品は、応募者本人が撮影し、全ての権利を

応募について

- 環境保護の観点より今回よりプリントでの応募受け付けを停止し、**Web応募のみに変更となりました。**紙焼きでの応募はお受けいたしかねますのでご了承ください。
- 一人何点、何テーマでも応募できます。ただし同一作品で複数テーマへの重複応募はできません。同一テーマでの入賞は一人一作品とさせていただきます。また、ほかの写真コンテストとの重複応募もできません。重複応募が判明した場合は、入賞は取り消しとなります(類似作品・コマ違い作品も同一作品と見なします)。

審査、発表について

- 審査委員は、加藤三郎審査委員長、中谷吉隆審査副委員長、PRESIDENT編集長の3名。一般部門の選考方法は、審査委員による第1次、第2次審査を経て、各協賛企業による第3次審査で優秀賞、佳作を決定。大学生部門はPRESIDENT編集部による第1次審査にて入賞者3名を決定。一般部門、大学生部門共に、最終審査会にて、各協賛企業の担当者、環境省、審査委員による投票でグランプリとなる「環境大臣賞／環境フォト大賞」および「環境大臣特別賞／環境フォト特別賞」各1点を決定。

入賞賞金について

- 一般部門の入賞作品は、環境大臣賞／環境フォト大賞1点、協賛企業10社のテーマごとに優秀賞1点、佳作2点。賞金は、環境フォト大賞30万円、優秀賞10

入賞作品・応募作品の取り扱いについて

- 入賞作品は、PRESIDENT掲載、写真展展示、小冊子作製、インターネットでの活用等、また各企業の宣伝広告等に無償で使用させていただきます。なお画題・作者名の明示、トリミングの有無等も含め、使用

有する未発表作品に限りです。

- ストックフォトサービスなどで公開された作品は応募できません。ただし、個人が非営利目的で運営するWebサイト、ブログ、SNSに掲載した作品は応募できます(SNS上のハッシュタグなどによるキャンペーン等に参加した作品は除く)。
- 人物写真の場合は、被写体の方の了解を得てください。
- 応募作品に関連して法律上の問題が生じた場合は、その一切を応募者の責任および負担において解決するものとします。
- 撮影は地域ごとのルール、マナーなどに十分注意して行ってください。

- 大学生部門への応募は、大学または大学院に在籍する学生に限りです。
- 入賞の際、元の画像データをメール、またはメディアに保存して郵送にてご提出ください。メディアは返却いたしませんので、ご了承ください。指定した期日までにご提出いただけない場合、入賞は取り消しとなりますのでご注意ください。大学生部門の入賞者は、学生証の画像、またはコピーもご提出ください。
- 締め切りは、2023年8月17日(木)23時59分まで。締め切り間際はアクセスが集中する可能性があるためお早めにご応募ください。

- 入賞作品は、2024年1月12日(金)発売のPRESIDENTで発表の予定です。2023年10月中に入賞の連絡をいたします。
- 入賞作品は、2024年1月中旬以降、環境フォト・コンテストホームページでも発表いたします。
- 2024年1月12日(金)以前に審査結果を公表することはご遠慮ください。
- 本コンテストの審査結果については、いかなるお問い合わせにも対応いたしません。あらかじめご了承ください。

点に各10万円、佳作20点に各1万円。大学生部門は環境大臣特別賞／環境フォト特別賞1点、佳作2点。環境フォト特別賞に賞金10万円。佳作2点に各1万円。

権は全てプレジデント社に帰属します。また入賞作品以外の応募作品についても、同様に使用させていただくことがあります(その場合は、各応募者に別途ご連絡いたします)。

30年分の想いとともにもっと美しい未来へ。

作品大募集

Earth Photo Contest 2024

第30回

環境フォト・コンテスト

2024

— SINCE 1994 —

Go Green



環境フォト・コンテスト2023
企業部門「環境フォト大賞」受賞作品
画題「巣作り」佐々木英樹



環境フォト・コンテスト2023
大学生部門「環境フォト特別賞」受賞作品
画題「ミステリーサークル」竹村さくら

協賛企業

- 公益財団法人旭硝子財団
 - 伊藤忠商事株式会社
 - 王子ホールディングス株式会社
 - 株式会社キタムラ
 - 株式会社商船三井
 - 大日精化工業株式会社
 - 大日本印刷株式会社
 - 日本生命保険相互会社
 - 日本たばこ産業株式会社
 - MIRARTHホールディングス株式会社
- (五十音順)

主催 プレジデント社 後援 環境省／環境文明研究所

応募について、
詳しくはこちら!



応募はWebから ●環境フォト・コンテストホームページ
<https://www.president.co.jp/photocon/>

環境フォト・コンテスト

検索



このチラシを印刷する際
の重量(400g以内)
は、自然エネルギーでま
かわれています。

当コンテストの個人情報の取扱いについて 上記入力いただいた個人情報は、事前連絡、作品使用に関するお知らせに利用させていただきます。事前のご了承なく他の目的で利用および提供を行うことはありません。個人情報のご記入は任意ですが、必須項目にご記入いただけない場合、ご応募いただけません。個人情報の委託を行う場合は、当社の厳正な管理の下で行います。個人情報の利用目的の通知・開示・内容の訂正・追加または削除・利用の停止・消去についてはお客様相談窓口までお問い合わせ下さい。
(お客様相談窓口) 経営企画本部 TEL03-3237-3731 株式会社プレジデント社 個人情報保護管理者: 経営企画本部長

協賛企業が想いを込めた「10のテーマ」と「大学生部門」から選んでご応募ください。

応募締切 応募はWebから! 2023年8月17日(木) 23時59分まで

入賞賞金

一般部門

環境フォト大賞 30万円[1点]
優秀賞 各10万円 [各賞1点(計10点)]
佳作 各1万円 [各賞2点(計20点)]

大学生部門

環境フォト特別賞 10万円[1点]
佳作 1万円[2点]

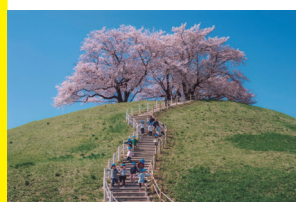
*大学もしくは大学院に在籍する学生のみ応募できます

*写真は前回の優秀賞受賞作品です。

旭硝子財団賞

募集テーマ

[自然の中にある幸福]



前回の優秀賞作品
画題「春の散歩道」中根英治

「美しい自然に接すると、私たちは家に帰ったような幸福感を得られます」とは、あるブループラネット賞受賞者の言葉です。私たちは、海、山、そこにすむ動植物など、多様な生態系の恩恵を受けて暮らしています。自然との日々の触れ合いの中で、あなたが見つけた幸福に満ちあふれた瞬間。そんなワンシーンを切り取ってご応募ください。

伊藤忠商事賞

募集テーマ

[地球のめぐみ]



前回の優秀賞作品
画題「夏空の下で」西岡尚央

あらゆる生命体のエネルギー源である太陽の光や、多くのめぐみをもたらす雨はもちろん、心地よい風や愛らしい草花、時にほほ笑ましく、時にたけだけしい動物たちもまた、私たちを守り、そして生かしてくれる「地球のめぐみ」の一つでしょう。後世に残したいのは、どんな「めぐみ」のシーンでしょうか。見た人の心を捉える一枚をお待ちしています。

王子ホールディングス賞

募集テーマ

[森と仲間たち]



前回の優秀賞作品
画題「木は友達—コロナに負けるな—」白木勇治
(募集テーマ「森の力で未来を変える」)

木々の成長と併せて、きれいな水をつくる、CO2を吸収して温暖化を防ぐ、多種多様な生物を育むなど、多面的な機能を備える森。国土の約7割が森林の日本では、里山や公園、神社など身近な場所に森が存在し、人や動植物などと深く関わりながら次世代へ引き継がれています。そんな森と仲間たちの関わりを、柔軟な視点と自由な発想で表現してください。

カメラのキタムラ賞

募集テーマ

[写真の力 ~レンズがとらえた瞬間~]



前回の優秀賞作品
画題「時化る海」吉田正男

目の前にあっても見逃されてしまいがちな「刹那の輝き」。これを捉えることができれば、その感動は時間や場所を超えて広がっていきます。これがまさに「写真の力」です。思わず「ハッ」とさせられた瞬間、自然が生み出した美しいアート、今しか巡り合えない印象深いコマなど、多くの人と分かち合いたいワンシーンを、あなたなりの視点で切り取ってください。

商船三井賞

募集テーマ

[海は、ひとつ]



前回の優秀賞作品
画題「海の幸せを願う」江郷 透

地球の表面積の約7割を占める海は、海洋植物、プランクトン、魚類、カメなどの爬虫類、渡り鳥や海獣、そして私たち人間と、数え切れないほど多種多様な生物の営みを支えています。地球上の生きとし生けるものを、広大かつ深遠な包容力で一つにつなぐ海。時に激しく、時に優しい海のさまざまな表情を捉え、次世代へのメッセージとしてお寄せください。

大日精化工業賞

募集テーマ

[地球の色、暮らしの色]



前回の優秀賞作品
画題「大楠様への祈り」綾田美鈴

私たちが暮らす世界は色彩であふれています。時間や季節、天候などに応じて刻々と移り変わる自然の色、地域の歴史や文化、身近な暮らしの中で育まれた味わい深い色。そのさまざまな色が、心地よさや感動、畏怖など、多様な感情を呼び起こします。あなたが出会った、その時、その場所ならではの色を写真に収め、その感動を多くの皆さんと共有しましょう。

大日本印刷賞

募集テーマ

[大気のうた]



前回の優秀賞作品 画題「雪上の星空」早川晃市

私たち人類を含む生命体の営みにとって、大気は存在は欠かせないことができません。そのようなかけがえのない大気からの歌声に耳を澄ましてみてください。「よるこび」「いつくしみ」「かなしみ」「いかり」「なげき」と、さまざまな歌声が聴こえてくると思います。「大気のうた」として地球から届けられたメッセージをあなたなりに切り取ってご応募ください。

日本生命賞

募集テーマ

[たくましく生きる力]



前回の優秀賞作品
画題「おばあちゃん元気だね」古川五夫

地球環境保全という大きな課題に挑み、自らの手で未来を切り開いていく。そんな「たくましく生きる力」を子どもたちに宿してほしいとの願いを込めて設定したテーマです。人間だけでなく動物、草花などのあらゆる生命体には、それぞれ「たくましさ」があります。見た人に勇気や希望を与え、エネルギーに満ちあふれる写真のご応募をお待ちしています。

JT賞

募集テーマ

[共存]



前回の優秀賞作品
画題「コンニチワ!!!」林 良子

私たちの社会が支え合いで維持されているように、地球環境もさまざまな生命がそれぞれの役割を果たし、多様な関係性を構築することでバランスを保っています。この素晴らしい「共存」関係を失わないためには、一人一人がお互いの尊さを理解し、知恵を共有し合いながら、意識を高めていくことが大切です。その後押しとなるような作品を世界に発信しましょう。

MIRARTHホールディングス賞

募集テーマ

[人と地球の幸せ]



前回の優秀賞作品
画題「満足」竹内良弘
(募集テーマ「水と暮らしの幸せ」)

2022年10月、不動産総合デベロッパー「タカラレーベン」から、未来環境デザイン企業へと進化した「MIRARTHホールディングス」。前回までのテーマ「水と暮らしの幸せ」から、さらにフィールドを広げ、当社が実現を目指す「人と地球の幸せ」を募集します。命あふれる地球とかけがえのない「幸せ」が感じられる瞬間を、皆さまの視点で切り取ってください。

あなたの作品が、雑誌やWebサイトで発表されます!

PRESIDENT2024年1月12日(金)発売号で全入賞作品を発表予定。
環境フォト・コンテストホームページでも紹介します。

応募はWebから

環境フォト・コンテスト

検索



<https://www.president.co.jp/photocon/>

大学生部門

募集テーマ

[あなたのとなりにある地球環境]



今やビジネスに「サステナビリティ」の視点は欠かせません。「地球環境や人類の持続可能性」に対する高い感度を備えた人材は、あらゆる企業が必要としています。環境フォト・コンテストは、皆さんの地球環境に対する情熱や決意を示すのうってつけの舞台。学生ならではのユニークな視点でこのテーマを表現し、地球へのメッセージを届けてください。

前回の環境大臣特別賞/環境フォト特別賞作品
画題「ミステリーサークル」竹村さくら